

各位

上場会社名 クニミネ工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 國峯 保彦
 (コード番号 5388)
 問合せ先責任者 取締役経営戦略部長 小山 孝志
 (TEL 03-3866-7255)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,420	△58	△37	△15	△1.22
今回発表予想(B)	4,340	△15	20	5	0.41
増減額(B-A)	△80	43	57	20	
増減率(%)	△1.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	5,391	105	206	146	11.98

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,776	143	181	111	9.06
今回発表予想(B)	9,530	250	330	190	15.51
増減額(B-A)	△246	107	149	79	
増減率(%)	△2.5	74.8	82.3	71.2	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	10,746	375	539	328	26.79

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,073	△83	△53	△19	△1.55
今回発表予想(B)	4,054	△11	△7	△0	△0.00
増減額(B-A)	△19	72	46	△19	
増減率(%)	△0.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	5,019	57	98	82	6.74

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,082	89	139	90	7.35
今回発表予想(B)	8,960	245	285	150	12.25
増減額(B-A)	△122	156	146	60	
増減率(%)	△1.3	175.3	105.0	66.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	10,015	334	381	251	20.52

修正の理由

(1)第2四半期(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

連結、個別ともに売上高は当初予想より微減となる見込ですが、営業利益につきましては、前期末から取り組み始めた生産体制の見直しや人件費を含む固定費の削減等の収益改善策の効果が現れ始めてきており、第1四半期に比べ収益

性が向上して棚卸資産の評価損の戻りが13百万円見込まれる他、主力のベントナイト事業のうち鑄物関係につきまして、エコカー減税の効果等で稼働率がピーク時の1/3から直近で7割程度まで回復してきたこと等により、第2四半期(3ヶ月)において主要3部門がすべて黒字となる見込となり、営業損失が連結は予想額より43百万円減の15百万円、個別は72百万円減の11百万円となる見込です。経常利益につきましては、営業利益の上方修正等により、連結は経常損失37百万円から経常利益20百万円に転じるとともに、個別は経常損失が予想額より46百万円減の7百万円となる見込であり、四半期純利益につきましても、連結は四半期純損失15百万円から四半期純利益5百万円に転じるとともに、個別は四半期純損失19百万円が四半期純損失0百万円となる見込であります。

(2) 通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

売上高につきましては、ベントナイト事業部門のうち鑄物関係が、主要各国の自動車購入優遇策等により当初予想より回復が早まっており増収となる見込なもの、土木建築関係やペット関係が失業率悪化や賃金減少の影響等により減収となる見込の他、化成品事業部門において、止水材や環境保全処理剤が当初予想よりかなり厳しい状況で大幅な減収が避けられない見通しとなり、連結は予想額より2億46百万円減の95億30百万円、個別は1億22百万円減の89億60百万円となる見込であります。

営業利益につきましては、固定費削減等による収益改善効果、ベントナイト事業部門における稼働率の向上の他、アグリ事業部門において当初予想より従来品の殺虫剤や溶出制御剤が好調に推移していることもあり、連結は予想額より1億7百万円増の2億50百万円、個別は1億56百万円増の2億45百万円となる見込であります。

経常利益につきましては、営業利益の上方修正等により、連結は予想額より1億49百万円増の3億30百万円、個別は1億46百万円増の2億85百万円となる見込であり、当期純利益につきましても、連結は予想額より79百万円増の1億90百万円、個別は60百万円増の1億50百万円となる見込であります。

※上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上